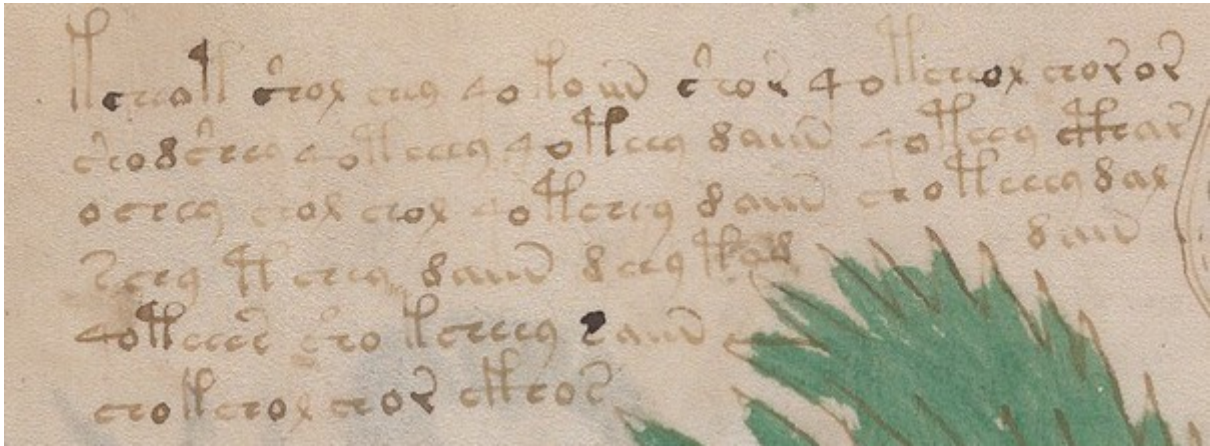


特に後半部分には同じ単語が良く出てきます。何らかの意図があるようです。



qaatdaf badaum aatb nadaqdand badar nadafaatdaum aadardar

クアアトダフは軒並み増えてゆったりとはしない。

成長すると豊かでない固まりが付いて幾らかは次々と土になる。

(枕詞)

badasbatb nadaftttb nadafttb sand nadafttb faar

出入りに従い変化した。豊かでなく集まった国の国土は長期間ではないが、辛い土地だった。

daatb aadaum aadaum nadafaatb sand aadaftttb saum

支配国に次々と所有者ができ、長期ではない国の国土に、幾らかの豊かさが集まり、国に希望が集まった。

kaab faatb sand sttb fdas said

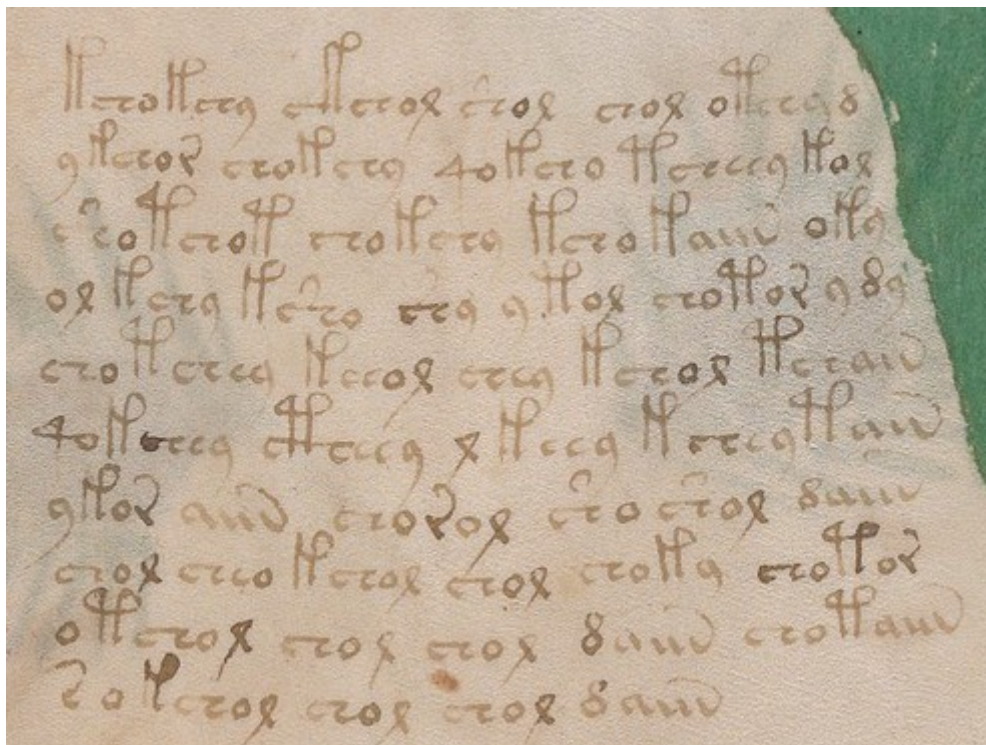
後に全ての良い国の国土が色々な人となり良い出入りが戻った。

nadaftttk bada qaattb kand

豊かでなく集まる方向で、約束の少ない支払いだった。しかしながら、

aadaqaadaum aadar qadak

幾らかの自立的な家の所有農地は雨に強かった。



qaadaqaab gaaadaum badaum aadaum dafaabs
小さな自立心は、取得した家で、軒並み所有家に常に集まった。

bqaadar aadaqaab nadaqaa dafaattb qdaum
古い所有農地は幾らか自立的で、自立的で無いのは小さい。大きくない国では狭い家だった。

badafaadaf aadaqaab qaadaqand daqb
長期に成るに従い豊かさは幾らか自立的で、小さく成立した支配だった。(支配の発生)

daumqaab qbab bab bfdaum aadafdar bsb
家が小さく少しの入り江の領土は、新しい家が幾らか豊かな農地で、決まった人だった。

aadafaatb qttdaum aatb qaadaum qaaaid
幾らか長期の国は小さな家に人を増やした。小さな家には良い手入れがあった。

nadaqaatb fattb umqaab qaat bfaid
自立的でない国は辛くない国で、乾きの無い国は少なくない新しい支援であった。

bqdar and aadardaum bada badaum sand
古い農地ではあるが幾らかの農地の家は悪いのが軒並みの国土だった。

aadaum aatdaqaadaum aadaum aadaqb aadafdar
所有家に自立的な家を増やし所有家はやや支配されたが、幾らか豊かな農地だった。

dafaadaum aadaum aadaum sand aadafand
長期の家は次々と所有家になり、国土は幾らか豊かではあった。

kdaqaadaum aadaum aadaum sand
後に自立的な家も次々と所有家となった国土であった。